

生涯学習

研究部だより

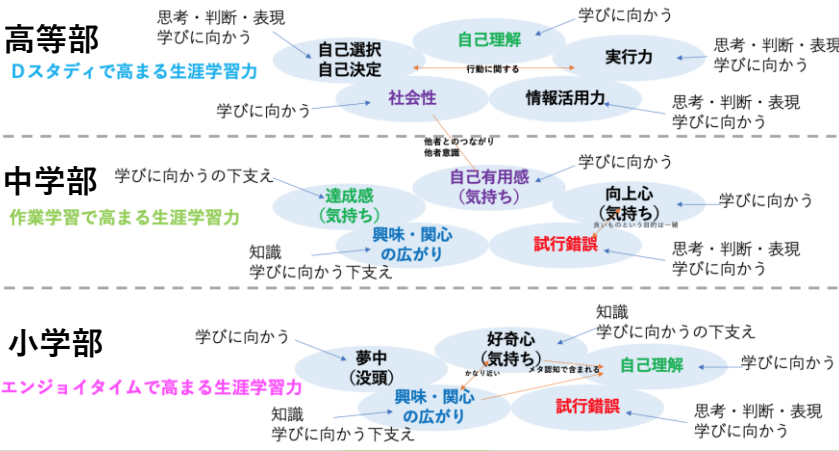
No. 7

「生涯学習力」とは、
具体的に何を育てるのか
ワーキンググループの
実践を基に
確認しよう



夏のセミナーで、**授業づくりワーキンググループ**から各学部の学習（今年度は一つの学習に焦点を当てて）で高まるであろう「生涯学習力」が提示されました。現在、提示した「生涯学習力」の妥当性を生徒の変容を基に検証している最中です。夏のセミナーで出された「生涯学習力」とは、三学部を並べてみると、どのようなまとまりになるのかを確認します。

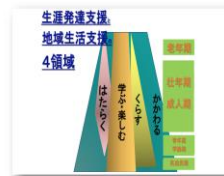
各学部の学習で高まるであろう「生涯学習力」夏のセミナーより



菅野先生の講話より スライド P 4 1

まとめに代えて

生涯学習支援では



の活動、学習を通して 育てる

「はたらく」「学ぶ・楽しむ」「くらす」「かかわる」の活動、学習を通して、**態度**を育てる

菅野先生がお話してくださったことと**方向性**としては、合致している態度の分類（種類と階層）は再度共有しておきましょう

各学部から出された「生涯学習力」は、ほとんどが学習指導要領で示された育成すべき「資質・能力」の中の「**学びに向かう力、人間性等**」に関わるものでした。

「学びに向かう力、人間性等」とは？

児童生徒が「どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか」に関わる資質・能力であり、他の二つの柱をどのような方向性で働かせていくかを決定付ける重要な要素です。

具体的には、

- 主体的に学習に取り組む**態度**も含めた**学びに向かう力**、
- 自己の感情や行動を統制する**力**、
- よりよい生活や人間関係を自主的に形成する**態度等**があり、
- 自分の思考や行動を客観的に**把握し認識する**、
- いわゆる「**メタ認知**」に関わる力を含むものです。

三学部の「生涯学習力」を並べてまとまりを考えると

実行する力

(夢中、熱中、没頭)

よりよくしようと考える力

(情報の収集、整理、分析、改善)

自分のことを知る力

(興味・関心、気持ち)

自分の周りを知る力

(自分の周りの人や社会や環境)

学びに向かう力 人間性

知識・技能

思考力・判断力
・表現力

「Society5.0」「人生100年時代」と言われる新しい時代に入っています。変化が激しく、将来どのような社会になるか予測の難しい世の中です。現在得た知識や技能は、そのまま生かすことが難しいとも言われています。そのような社会であるからこそ、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を働かせていくための「**学びに向かう意欲や態度**」を丁寧に育てていきましょう。



新しい時代へ